

多高通信

第123号 平成27年10月27日発行

多賀城市国際交流協会

「青年交流」に参加しました

9月20日、多賀城市文化センターで多賀城市にお住まいの外国籍市民4名を囲んでの交流会に7名の生徒が参加しました。4名の外国の方々から震災時の報告があり、避難所での様子や大使館とのやり取りなど、外国の方々の視点から貴重な体験談を聞くことができました。



また、「もし外国で被災者になったら」という設定のワークシヨップでは、図などを示すことや手を引いて避難を手伝うなど、言葉や文化の違いに関わらず皆が安全に避難するための提案が各グループからありました。

■加藤健太（1年3組 塩竈二中出身）

「災害弱者を出さない日頃からの取り組み」というテーマで、外国籍の皆さんの被災体験談を聞き、また、自分たちが外国で災害に遭遇したら、という互いに逆の立場で考え、それらの災害弱者に対し、自分たちができることについて話し合い、より防災や減災への意欲を高めることができました。また、異なる年代や国籍の人の、僕ら高校生とは違った視点からの意見を聞いて、災害に対しての広い視野を得ることができた良い機会となりました。

PLANpicに参加しました！

9月21日・22日の2日間、学生団体 PLANpic 実行委員会が主催するプログラム「PLANpic 東京2nd」が国立オリンピック記念青少年総合センターで行われました。「未来を描く」を全体のテーマとして、5つの小テーマに分かれて活発な議論が交わされました。

■櫻井千聡（1年2組 玉川中出身）

私はメディア班として今あるメディアの形を図にまとめて分析したり、自分がメディアとどのように関わって

また、今後どう関わっていかなければならないのか、理想のメディアの形について話し合いました。最初はメディアを分析すると言われてもピンときませんでしたが、一つ一つの問題を一生懸命考え、発言し、互いに意見をぶつけて真剣に話し合うことがとても楽しいことだと素直に感じました。

PLANpicに参加したことを無駄にしたいなくて、私は今、同じ班だった友人の起業をサポートしており、自分からも何か行動を起こそうと考えています。

この思いは私の人生を大きく変えるものであり、PLANpicに参加しなければ浮かばないものでした。ぜひ皆さんも様々なプログラムに参加し人生を変える出会いをして下さい！



水泳部 上位大会報告

水泳・飛び込み競技で3年連続のインターハイ、そして日本選手権への出場を果たした水泳部の遠藤さんから報告をいただきました！

■遠藤朱莉（3年1組 多賀城二中出身）

今年は高校最後の年ということもあり、今まで以上に一生懸命毎日の練習に取り組んでいました。しかし、試合では緊張や怪我で練習通りの演技ができず、目標を達成することができませんでした。自分の中ではこれ以上できないというくらい頑張ったつもりでしたが、会場で自分より格上の選手を見て、自分の努力が全然足りなかったことを痛感しました。しかし、最後に日本選手権という素晴らしい大会に出場できたことが、今まで12年間競技を頑張ってきた成果だと思っています。

飛び込み競技で学んだことをこれからの人生に役立てていきたいです。今まで応援ありがとうございました。

合唱部 嵐と共演！

シルバークワイークに利府町のグランディ21で行われ全国的にも話題となった、アイドルグループ嵐の「サンダー」ARASHI BLAST in Miyagiに本校合唱部が出演し、嵐の5人との共演を果たしました。

■千葉妃代里（3年7組 塩竈二中出身）

この話を聞いた時は本当にびっくりして「まさか！」と

いう感じでした。あの嵐の皆さんと一緒に歌える日が来るなんて…。夢のような時間を過ごさせていただきました。宮城県の様々な学校・団体の皆さん、そして嵐の皆さんと歌うことができたのは、緊張もしましたが気持ちよかったです。とても素敵な空間の一員になれて本当に幸せでした。参加できて良かったです！

フィールドワーク報告

牡鹿半島 野外実習

9月26日・27日の2日間、「野外観察を通じて地学の調査法や考え方、私たちを取り巻く地球環境を理解すること」を目的とし、2年生11名が牡鹿半島での野外実習を行いました。講師として東北大学学術資源研究公開センターの西弘嗣先生、高嶋礼詩先生をお招きしました。



地層の観察をしています。

■庄司遼（2年6組 しらかし台中出身）

参加者の中には文系の人もいて、理系の生徒に限らずいろいろな生徒が興味を持っていたことが嬉しく思えました。走向傾斜の測定、傾斜不整合、褶曲などを東北大学の先生に分かりやすく教えていただき、知識がより深まりました。また、互層の成り立ちや生物擾乱など、新しい知識も獲得できました。



今回のフィールドワークは災害科学科開設への準備でもありますが、このような企画に参加させていただけるのは素晴らしいことで、今回学んだ知識や判断力を日常生活にも活かしていきたいと思っています。

つくば実習 「自然災害を科学し、行動する」

高校生の私にできること

9月27日・28日の2日間、1年生33人がつくば市の研究施設で実習を行ってきました。科学的な視点で自然災害を学び、命や暮らしを守るため行動し、発信する力を身に付けました。

■加藤栞

（1年3組 向洋中出身）



1日目の地質標本館では、日本の震源地や火山・地熱を知ることができる大きな模型や化石などの標本を見学しました。JAXAではさまざまな人工衛星や本物の

国際宇宙ステーション・日本の実験棟「きぼう」の内部模型



ロケットエンジンなどを見ることができました。自然災害は、地質や宇宙について知ることによって防げることもたくさんあることを学びました。

2日目の防災科学技術研究所では、気象や地震についての講義を聴きました。講義は座学だけでなく実際に竜巻を作る実演もあり、とても楽しく分かりやすく学ぶことができました。

■佐々文香

（1年5組 上杉山中出身）

地質標本館では、日本の地質、地下資源などのいくつかに分けられたテーマを見て、今までの地球を知り、地球にやさしい社会について考えさせられました。また、防災科学技術研究所では、地震、雨粒の形・大きさ、竜巻の3つの講義と施設見学を行いました。講義は今までのちよつとした疑問が簡単に解決でき、興味深い内容でした。また、施設見学では、世界規模の実験施設やレーダーを直接見ることもできました。

私は今回の研究で、普段学ぶことができないようなことを学ぶことができ、とても貴重な体験となりました。この研究体験だけで終わらないよう、これからは、自分に今何ができるのかを考えて行動し、次のステップへとつながっていききたいと思います。

10月22日には、このつくば実習の発表会を1学年全員の前行いしました。学んだことを自分たちの言葉でまとめ、他者に伝えるようなアウトプットの仕方を考え、実際に発表する…。最後の発表会までしっかりと取り組みました！



実験を交えながらの講義です。



地質標本館。火山の学習です。

講義「課題研究の進めかた」

9月29日、1学年を対象に、後期から「総合的な学習」で取り組む課題研究に沿った学習への取り組み方について、東北大学災害科学国際研究所講師の久利美和先生に講演をいただき、「論文」とはどういうものなのか「学会での発表」とはどのようなものなのかを、わかりやすく説明していただきました。

今後は発表の機会に、積極的に自分から考えを発表したり、質問したりするようにして研究を深めていきたいと思っています。



新潟・見附高校の皆さんが

来校しました！

サバイバル飯、通称「サバ飯」。空き缶を容器に炊飯しています。



10月2日、新潟県立見附高等学校の2年生155名が修学旅行の一環として本校を訪問しました。体育館での全体会の後、「サバ飯作り」「まち歩き」「防災ワークショップ」などの6つの班に分かれて、本校が取り組んでいる防災活動の体験学習に取り組みました。それぞれのグループ活動に参加した生徒は、東日本大震災の被害の大きさに驚き、防災活動の大切さを、身をもって感じていました。

夢ナビライブに参加しました

大学の先生方による講義を目の前で聴講しました。



10月3日、夢メッセみやぎで行われた進学情報イベント「夢ナビライブ 2015」に、1、2学年全員が参加しました。「学びたい学問を見つけ、学べる大学に出会える日」をテーマに、東北・関東を中心とした大学の先生方が体験授業を開いたり、教育関係の企業が受験に向けた講演を行うイベントで、多くの高校生が県内外から参加しました。

■生徒の感想

○今回の夢ナビライブに参加して、改めて自分の夢に向かうための刺激を受けることができた。大学でもこのよ

うな講義を受けるんだというイメージができ、そこにいる自分の姿も想像できて、とても明確に進路を示してもらえた気がした。(1年女子)

○講師の先生方は、自分が研究していることが本当に好きで研究しているのだなと感じた。僕もやりがいのある好きなことを研究するような進路に進むことができたらしいと思った。(2年男子)

創立40周年記念 体育祭！

10月9日、多高三大行事のひとつである体育祭が開催されました。前日は強風警報が発令されるほどの悪天候で開催が危ぶまれるほどでしたが、当日は見事な秋晴れとなりました。体育祭はクラスごとの縦割り競争と、学年を越えた団結で名場面が続出。最終種目の縦割りリレーでは全校生徒が学年を越え、皆団結して応援する光景が印象的で、三大大行事の最後を飾るのにふさわしい盛り上がりを見せました！

選手宣誓ではオリンピックの聖火リレーのようなパフォーマンスも。



体育祭の華、リレー！



10人11脚や障害物競走…一筋縄ではいかない競技も盛りだくさんです。



最終成績

優勝	5組
準優勝	7組
第3位	2組



新種目のバンブーリレー。大成功＆大盛り上がりでした！

■体育祭実行委員長 米澤雅俊

(3年3組 多賀城中出身)

今年の体育祭は、昨年のクラス全員が参加することのできる競技が欲しいという要望に応え、新たにバンブーリレーという競技を追加しました。初の試みということもあり、準備段階では実行委員皆で意見を出し、何度もシミュレ

ーションしました。本番では試行錯誤した甲斐があり見事大成功を収め、クラス全員が一致団結して全員が楽しむことのできるとても良い競技となりました。

今回の体育祭は、新たな競技を追加するなど戸惑うこともたくさんありました。しかし、1、2年生の実行委員や先生方のおかげで大きな問題も無く最高の体育祭となりました。私も実行委員長としてとても感謝しています。本当にありがとうございました！

部活動 大会レポート

軽音楽部

高校対抗バンド合戦1年生大会 奨励賞！

10月10日、宮城県高等学校対抗バンド合戦1年生大会が行われ、本校軽音楽部を代表して出場した1年生バンド「Siete」(シダライト)が準グランプリにあたる奨励賞を受賞しました。

■佐藤千寛(1年5組 多賀城中出身)



この大会で奨励賞を受賞できたのは、顧問の先生や家族、部活の先輩方・仲間など、たくさんの方々の支えや応援があったからこそだと思います。本当にありがとうございました。今回は、今回グランプリを取ることはできなかったのは正直本当に悔しいです。しかし、私たちの練習の成果を全て出し切り、今までで一番楽しく堂々と演奏することができたので、私たちに与えてくれた今回の悔しさを胸にこれからも日々頑張っていきたいと思っています。

山岳部新人戦 男子5位・女子3位！

■伊藤いずみ(2年4組 多賀城中出身)

私たち山岳部は10月16日から鬼首の須金岳で行われた新人大会で男子5位・女子3位に入賞することができました。女子は仙台三高と合同チームを組んだり、男子は当日に1チームがリタイアすることなどがありましたが、仲間の大切さや山の楽しさを改めて実感することができた大会にもなりました。そして、山行技術の向上を図るための知識を活かし、安全登山を心掛けながら優勝という「頂」に「ちからのかぎり」挑戦したいです。

今後、応援して下さいました先生方、家族、先輩方、友達など、たくさんの方々の感謝の気持ちを忘れずに山行して行きたいです！

災害科学科説明会

10月10日、来年度より本校に開設される災害科学科の説明会が開催され、来春の入学に向けた

中学3年生や保護者の方々など、多くの皆様に「ご参加いただきました。全国でも類を見ない新しい取り組みではありますが、全体での概要説明に加え、数学・地理・理科の授業体験などを通して、少しでも新学科のことがご理解いただけたかと思っています。

■参加者の声

○様々な災害を想定して、将来家を建てる時などどこが安全かを勉強したい(中学3年生)

○今回の体験授業のようなハザードマップ作りや津波到達時間の予測をやってみたい(中学3年生)

○自分の時代にもこのような取り組みをしている学校があったらなあ...と思いました。(保護者)

復興庁主催

新しい東北フォーラムin仙台

10月12日、せんだいメディアテークで「新しい東北フォーラム」が開催され、本校生徒会と防災委員の代表8名が参加してきました。東北では、震災復興に向けて様々な分野で震災前には見られなかった「新たな挑戦」が行われており、こうした挑戦に取り組んでいる様子や未来に向けたメッセージを表現しました。本校からは、大学生・高校生によるワークショップ「ボランティア・ワールドカフェ」や「新たな挑戦リレートーク」に防災委員等の有志が参加し、活発な意見交換を行いました。

■佐藤里紗

(1年5組 鳴瀬未来中出身)

私が今まで参加してきた震災関係のディスカッションでは、大学生などの大人の方がいなかったもので、今回は大人の視点から考えを聞くことができました。「震災後すぐに前向きになれることができたか」という問いがありましたが、「あの震災から生きのびることができた私がすべきことは、前を向き自分の震災経験を語ることが大切だ」と考えました。今回の経験を教訓として後世につなげ、多くの人に広げてもらう二度とみんなが辛い思いをしないしてほしいと思います。その思いを一人一人が持てる様々な活動にこれからも取り組んでいきたいです。



報道も多数来校しました。



全体説明会の様子。